

JEMS 日語部コーディネーター 藤本三奈子

「ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。(ヨハネ1:14)」

メリー・クリスマス！ 尊い主の御名を賛美致します。皆様のお祈り、経済的支援を頂き、また主の大きな憐れみと恵みによって、2015年もJEMS日語部のミニストリーの働きに仕えることができましたことを感謝しております。この一年 JEMS 日語部を支えて下さった皆様お一人、お一人に心より感謝申し上げます。



2015年クリスマスを迎えて

2015年も主が共にいて下さり、全てを守り導いて下さいました。JEMSの働きでの恵みは随時時報でもご報告させて頂いておりますので、自身への恵みを3つほどシェアさせて頂きます。

酒さ 6月に発行した時報で酒さを患っていることを近況報告させて頂きました。医学的に知識を持った方からアドバイスを頂いたり、お祈りしています、とお声をかけて頂いたり皆様とのクリスチャンにある愛に触れる体験をさせて頂きました。クリスチャンの姉妹から紹介して頂いた皮膚科の専門医を受診し、処方箋のクリームを5月からつけ始めたところ、痛みや赤味が取れました。医者によりますと、薬で症状が押さえられている(高血圧症で説明され納得)のだから、ずっと薬はつけ続ける必要があるということ。これは大人のにきびだから、医者に行っても直らないと勝手に判断し、自然のクリームで直そうとしましたが、費用もかかり、却って悪化するばかりでした。皆様の多くのお祈りによって適切な治療が施されたことを心から感謝致します。イエス様は「医者が必要とするのは丈夫な者ではなく、病人です。わたしは正しい人を招くためではなく、罪人を招くために来たのです。(マルコの福音書2:17)」とお語りになりました。私の酒さを直すには、自分勝手な判断ではなく、専門の知識を持った医者が必要でした。魂の癒しにはイエス様の十字架の愛が必要であることを改めて感じました。

父 今年の4月に父が召されました。昨年6月のレターで、家族で日本へ一時帰国をした時、日系3世の主人が父と囲碁をしたことを書かせて頂きましたが、父が肝胆ガンを患っていることが分かったための帰国でした。今年3月下旬に父が入院をした知らせを受け、今までに福音をはっきりと伝えたことがなかったので、意識のあるうちにどうしても伝えたいと願い、日本滞在3泊4日のスケジュールでしたが、一時帰国しました。病院に着くと父は、すでに食欲もなく、トイレに行く以外は眠っているという状態だったので、目覚めているほんのわずかな時間に福音を伝えました。そして、「お父さん、イエス様のこと信じる？」と聞くと、父は「信じるよ。」とはっきりと答えたので、一緒に信仰告白の祈りをしました。私と父だけでしたので、適切に伝えられたのか心配でしたが、イエス様は父の信仰を受け入れて下さったと信じています。このことを通して、私たちがイエス様から委ねられているのは、福音をもって、救いを説得するのではない、福音を語ることであることがはっきりとわかりました。「事実、この世が自分の知恵によって神を知ることがないのは、神の知恵によるのです。それゆえ、神はみこころによって、宣教のことばの愚かさを通して、信じる者を救おうと定められたのです。(コリント I 1:21)」

今年4月に父が召されました。昨年6月のレターで、家族で日本へ一時帰国をした時、日系3世の主人が父と囲碁をしたことを書かせて頂きましたが、父が肝胆ガンを患っていることが分かったための帰国でした。今年3月下旬に父が入院をした知らせを受け、今までに福音をはっきりと伝えたことがなかったので、意識のあるうちにどうしても伝えたいと願い、日本滞在3泊4日のスケジュールでしたが、一時帰国しました。病院に着くと父は、すでに食欲もなく、トイレに行く以外は眠っているという状態だったので、目覚めているほんのわずかな時間に福音を伝えました。そして、「お父さん、イエス様のこと信じる？」と聞くと、父は「信じるよ。」とはっきりと答えたので、一緒に信仰告白の祈りをしました。私と父だけでだったので、適切に伝えられたのか心配でしたが、イエス様は父の信仰を受け入れて下さったと信じています。このことを通して、私たちがイエス様から委ねられているのは、福音をもって、救いを説得するのではない、福音を語ることであることがはっきりとわかりました。「事実、この世が自分の知恵によって神を知ることがないのは、神の知恵によるのです。それゆえ、神はみこころによって、宣教のことばの愚かさを通して、信じる者を救おうと定められたのです。(コリント I 1:21)」



アメリカに戻る直前に父を病院に見舞ったのが、父との地上での最後の別れとなりましたが、手を取り合っ一緒に祈る時を持つことができました。いつまでも私の手を離さず、おだやかな表情の父の顔が今でも思い出されます。

洗礼 8月に次男が受洗の恵みに預かりました。お腹にいる時から教会に通い、マウント・ハーモン修養会にも1歳から参加するという大きな恵みの中を歩ませて頂いてきました。洗礼式では、泣いてしまいかも思っていたのですが、安堵感で一杯でした。サンデー学校の先生方や祈り、温かく見守って下さった方々に感謝致します。



2015年も主から頂いた多くの恵みに思いをめぐらせると、感謝と喜びで一杯になります。皆様の尊いお祈りを心から感謝致します。



2016年日語部

2016年も、JEMS日語部の働きを通して、主の栄光が現れ、主の御名が崇められるようにと願っています。2016年マウント・ハーモン修養会は、日語部の講師を3年ぶりに日本からお招きします。JTJ宣教神学校の校長先生で、新約聖書神学、聖書解釈学、礼拝学を担当されている横山英美先生です。参加される方々が、修養会を通して主にさらに近づくことができることを期待しています。

祈りのリクエスト

- 2016年のJEMS日語部の働きを主が導いてくださり、イエス・キリストを宣べ伝える働きを進めるための知恵が与えられますように。
2016年のマウント・ハーモン修養会に多くの参加者が与えられ、修養会が祝福と恵みで満たされますように。
教会の情報の改定作業が進みますように。また集会の情報などが広く行き渡るためのネットワークが構築できますように。
クリスチャン人口が1%にも満たない日本に住む方々や海外に住む日本人にクリスマスの真の希望と愛が届きますように。
JEMS日語部のために祈って下さる方が益々が与えられ、経済的サポートが満たされますように。



経済的支援をして下さる方はJEMS宛のチェックのメモ欄に「Minako Fujimoto Support」とご記入ください。

祝福と恵み豊かな素晴らしい2016年となりますようにお祈り致します。